



FileMaker®

インストールおよび新機能ガイド

FileMaker Pro 15 および FileMaker Pro 15 Advanced

© 2007-2016 FileMaker, Inc. All Rights Reserved.

FileMaker, Inc.

5201 Patrick Henry Drive

Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカー及び FileMaker Go は、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ファイルフォルダロゴ及び FileMaker WebDirect は、FileMaker, Inc. の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgments」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。FileMaker, Inc. は、これらの製品の性能について一切の責任を負いません。

詳細情報については <http://www.filemaker.com/jp> をご覧ください。

目次

第 1 章

インストールを始める前に	5
このガイドについて	5
FileMaker のマニュアルの場所	5
カスタマサポートとナレッジベース	6
製品通知	6
ライセンスキーについて	6
ダウンロード版 FileMaker Pro のバックアップ	7
機能に関する必要条件	7
評価版から製品版の FileMaker Pro への変換	8
FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード	8
旧バージョンのファイルの開き方	8
インストールプロセスの自動化	9

第 2 章

Windows での FileMaker Pro のインストール	11
インストールの注意	11
32 ビットまたは 64 ビット FileMaker Pro の インストールの選択	12
デフォルトのインストール場所	12
FileMaker Pro のインストール	13
Bonjour のインストールについて	14
Microsoft .NET Framework のインストールについて	14
FileMaker Pro のアンインストール、変更、または修復	15

第 3 章

OS X での FileMaker Pro のインストール	17
インストールの注意	17
デフォルトのインストール場所	18
FileMaker Pro のインストール	18
FileMaker Pro のアンインストール	19

第4章

新機能

新しいフィールドコントロール	21
使いやすさの改善	21
スクリプトワークスペースの改善	21
セキュリティの向上	22
スクリプトステップ	22
関数	23
変更および取り除かれた機能	23

第5章

この後の作業を開始するにあたって

25

第 1 章

インストールを始める前に

このたびは FileMaker® ソフトウェアをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。FileMaker Pro は、iPad、iPhone、Windows、Mac、および Web でシームレスに機能するソリューションをすばやく作成することができます。

このガイドについて

この『インストールおよび新機能ガイド』では、FileMaker Pro 15 または FileMaker Pro 15 Advanced を Windows または Mac コンピュータにインストールする方法とソフトウェアの新機能を説明しています。

次の点に注意してください：

- このガイドでは、FileMaker Pro Advanced の特定の機能を説明する場合以外は、「FileMaker Pro」を FileMaker Pro と FileMaker Pro Advanced の両方を指すものとして使用しています。
- ある機能または手順が特定のプラットフォームを対象としている場合は、説明および図もそのプラットフォームに固有の内容が使用されます。両方のプラットフォームに共通する機能や手順については、Windows または OS X のいずれかの図が使用されます。

FileMaker のマニュアルの場所

追加の FileMaker ドキュメンテーションの表示およびダウンロードについては、<http://www.filemaker.com/documentation/ja> を参照してください。

FileMaker Pro の最新情報およびリリースノートについては、<http://filemaker-jp.custhelp.com> を参照してください。

カスタマサポートとナレッジベース

FileMaker カスタマサポートにアクセスするには、[ヘルプ] メニュー > [サービスとサポート] を選択します。

FileMaker ナレッジベースにアクセスするには、<http://filemaker-jp.custhelp.com> を参照してください。

メモ FileMaker ナレッジベースおよび FileMaker Community の情報はすべての言語には対応していません。

お客様のシステム構成がソフトウェアの最小システム条件を満たしている場合、FileMaker サポート担当者が、インストール、起動、または再インストール (データ復旧を除きます) についてサポートします。

<http://www.filemaker.com/cs> を参照してください。

製品通知

FileMaker Pro は、ソフトウェアの更新 (マイナーなソフトウェアの変更を含む) およびソフトウェアの新バージョン (新規および変更された製品機能を含む) を自動的にチェックします。ソフトウェアの更新は更新通知の受信時、または [ヘルプ] メニュー > [ソフトウェア更新の確認...] を選択して行うことができます。

通知は [環境設定] ダイアログボックスでいつでも無効にすることができます。

ライセンスキーについて

FileMaker Pro ソフトウェアには、35 文字の固有のライセンスキーが付属します。FileMaker Pro を FileMaker Store Web サイトからダウンロードでご購入いただいた場合、ソフトウェアダウンロードページへのリンクが記載された電子メールが送付されます。ライセンスキーはそのページで確認できます。FileMaker Pro のパッケージ版をご購入いただいた場合、ライセンスキーはパッケージに同梱されています。

ライセンスキーを紛失しないようにご注意ください。ソフトウェアをインストールするには有効なライセンスキーが必要です。ライセンスキーはソフトウェアの再インストールが必要な場合に備えて安全な場所に保管することをお勧めします。

詳細については、ソフトウェアをインストールしたアプリケーションフォルダにあるFileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のソフトウェア・ライセンスを参照してください。

ダウンロード版 FileMaker Pro のバックアップ

FileMaker Pro ソフトウェアを再インストールする必要がある場合に備えて、ダウンロード版 FileMaker Pro ソフトウェアのバックアップを作成しておくことをお勧めします。手順については[ナレッジベースの記事](#)を参照してください。

機能に関する必要条件

FileMaker Pro の機能の使用には追加のソフトウェアが必要な場合があります。

機能	必要なソフトウェア
電子メールアプリケーションを使用した[メールを送信]スク립トステップ	サポートされている電子メールアプリケーション。 FileMaker Pro 技術仕様 を参照してください。 この必要条件は SMTP メールには適用されません。
電話をかける (Windows のみ)	ダイヤラーまたは他の TAPI (Telephony API) 対応のソフトウェア。
ODBC と JDBC 機能	FileMaker の ODBC ドライバおよび JDBC ドライバは、インストールディスクイメージの xDBC フォルダ、および http://www.filemaker.com/jp/support/downloads から入手できます。 OS X: Actual Technologies のフリーウェア製品 ODBC Manager (http://www.odbcmanager.net から入手可能)。 詳細については、『 FileMaker ODBC と JDBC ガイド 』および ヘルプ を参照してください。

評価版から製品版の FileMaker Pro への変換

コンピュータに FileMaker Pro 15 の評価版がインストールされている場合、ライセンスキーを入力することで、評価版をアンインストールすることなく製品版の FileMaker Pro 15 に変換できます。評価版はアップグレードライセンスキーおよびアップグレード対象の旧バージョンのライセンスキーを入力して変換することもできます。[ヘルプ](#)を参照してください。

FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード

FileMaker Pro を旧バージョンからアップグレードする場合、旧バージョンをアンインストールする前に新しいバージョンへアップグレードすることをお勧めします。

1. ライセンスキーを使用してアップグレードをインストールします (6ページ「ライセンスキーについて」参照)。
2. プラグイン、辞書の情報、および環境設定を FileMaker Pro の新しいバージョンへ移動します。環境設定の移動については、FileMaker ナレッジベース (<http://filemaker-jp.custhelp.com>) を参照してください。
3. 最新バージョンのみを使用する場合は、旧バージョンをアンインストールします。

最新バージョンへアップグレードする前に、旧バージョンのアンインストールを選択する場合、旧バージョンのライセンスキーを必ず用意してください。旧バージョンがインストールされていない状態でアップグレードライセンスキーを使用して FileMaker Pro をインストールすると、旧バージョンのライセンスキーの入力を求められます。

旧バージョンのファイルの開き方

FileMaker Pro 15 では、FileMaker Pro のバージョン 7.x、8.x、9.x、10.x、11.x、12.x、13.x、または 14.x で作成されたファイルを開くことができます。バージョン 12 より前の FileMaker Pro で作成されたファイルを使用するには、FileMaker Pro 12 ファイル形式に変換する必要があります。ファイル変換の詳細については、[ヘルプ](#)を参照してください。

インストールプロセスの自動化

ボリュームライセンスやサイトライセンスなどで、複数の FileMaker Pro をインストールする場合、またはサイレントインストールを行う場合は、処理を自動化することができます。インストーラと「Assisted Install.txt」ファイルを使用して通常のインストールダイアログボックスを非表示にできます。『[FileMaker Pro ネットワークインストールセットアップガイド](#)』を参照してください。ライセンスの詳細については、<http://www.filemaker.com/jp> を参照してください。

第 2 章

Windows での FileMaker Pro のインストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了し、作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報およびリリースノートについては、<http://filemaker-jp.custhelp.com> を参照してください。

インストールの注意

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- お使いのコンピュータがシステム必要条件を満たしていることを確認します。[FileMaker Pro 技術仕様](#)を参照してください。
- FileMaker Pro をインストールするには Windows の管理者権限が必要で、管理者アカウントとパスワードを使用する必要があります。
- ご使用のコンピュータでウイルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。
- インストール中に、すべてのプログラム機能をインストールする [すべて]、またはプログラムの一部をインストールする [カスタム] を選択します。たとえばディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。
- インストールの開始時に、FileMaker Pro インストーラの言語バージョンを選択します。デフォルトで選択される言語バージョンは、オペレーティングシステムの言語と同じです。[すべて] でインストールする場合は、選択した言語バージョンのみがインストールされます。[カスタム] を選択し、サポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。
- コマンドラインの使用、およびネットワークボリュームを使用してリモートで FileMaker Pro をインストールすることもできます。
『[FileMaker Pro ネットワークインストールセットアップガイド](#)』を参照してください。

32 ビットまたは 64 ビット FileMaker Pro のインストールの選択

Windows のサポートされている 32 ビットバージョンを使用する場合は、FileMaker Pro の 32 ビットバージョンのみをインストールすることができます。

Windows のサポートされている 64 ビットバージョンでは、FileMaker Pro の 32 ビットまたは 64 ビットバージョンをインストールすることができます。FileMaker Pro を次のいずれかのソフトウェアの 64 ビットバージョンと使用する場合は、FileMaker Pro の 64 ビットバージョンをインストールする必要があります。

- FileMaker Pro から電子メールを送信するための電子メールアプリケーション
- FileMaker Pro プラグイン
- 外部 SQL ソース用の ODBC クライアントドライバ
- インタラクティブオブジェクト内のコンテンツを再生するオーディオ/ビデオコーデック

上記以外の場合は FileMaker Pro の 32 ビットバージョンをインストールすることができます。

デフォルトのインストール場所

デフォルトでは、FileMaker Pro および FileMaker Pro Advanced は次のいずれかのフォルダにインストールされます。

- 32 ビット Windows システム:
C: ¥ Program Files ¥ FileMaker ¥ <FileMaker 製品>
- 64 ビット Windows システム:
 - 32 ビット FileMaker Pro のインストール場所
C: ¥ Program Files (x86) ¥ FileMaker ¥ <FileMaker 製品>
 - 64 ビット FileMaker Pro のインストール場所
C: ¥ Program Files ¥ FileMaker ¥ <FileMaker 製品>

<FileMaker 製品> は FileMaker Pro 15 または FileMaker Pro 15 Advanced です。インストール中に別のドライブまたはフォルダを選択することができます。

FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするにはインストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても FileMaker Pro はインストールできません。

1. 次のいずれかを行います：

- ソフトウェアを電子的に入手した場合は、FileMaker Pro の 32 または 64 ビットバージョン用のファイルをダウンロードした後にインストーラアイコン (.exe ファイル) をダブルクリックします。



- DVD を使用して FileMaker Pro をインストールする場合は、DVD ドライブに DVD を挿入し、DVD ウィンドウを開いてインストーラアイコンをクリックして 32 ビットバージョンをインストールします。



クリックして 32
ビットアプリケーションをインストールします



クリックして DVD
の内容を参照および表示します



クリックして
終了します

64 ビットバージョンをインストールするには、参照するアイコンをクリックして「64-bit」フォルダを開いてから「Setup.exe」をダブルクリックします。

2. 画面の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。
11 ページの「インストールの注意」を参照してください。
3. インストールが完了すると、[ユーザ登録] ダイアログボックスが表示されます。

Bonjour のインストールについて

Bonjour のサービスを使用すると、IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動で検出することができます。リモートホストを検出できるようにするには、Bonjour をインストールする必要があります。

Bonjour がインストールされていないか、またはサービスが実行中でない場合、FileMaker Pro は共有ホストを検出することができません。たとえば、[起動センター] の [ホスト] タブ内でホストされているファイルを表示したり、外部データソースとして使用する共有ファイルの一覧を表示できません。

Bonjour のサービスを使用しない場合、共有ホストのホスト名または IP アドレスを手動で入力する必要があります。

インストーラがサポートされているバージョンの Bonjour を検出しない場合、Bonjour のインストールが要求されます。

Bonjour を手動でインストールする必要がある場合は次の手順を実行します：

1. FileMaker Pro インストールフォルダを開きます。
2. 「Files」フォルダを開き、「Bonjour」フォルダを開きます。
3. Windows のバージョンに応じて「32-bit」または「64-bit」フォルダを開きます。
4. Bonjour (32 ビット) または Bonjour64 (64 ビット) アイコンをダブルクリックします。
5. 画面の指示に従って Bonjour をインストールします。

Microsoft .NET Framework のインストールについて

Microsoft .NET Framework は、多くの Windows アプリケーションに共通の機能を提供します。FileMaker Pro を実行するにはシステムに特定のバージョンの .NET をインストールする必要があります。

.NET がインストールされていない場合、FileMaker Pro の起動時にエラーメッセージが表示され、FileMaker Pro は実行されません。

インストーラが必要なバージョンの .NET を検出しない場合、.NET のインストールが要求されます。.NET をインストールするには、必要なファイルをダウンロードするためのインターネットアクセスが必要です。

.NET を手動でインストールする必要がある場合は次の手順を実行します：

1. FileMaker Pro インストールフォルダを開きます。
2. 「Files」フォルダを開き、「DotNet」フォルダを開きます。
3. アイコンをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従って .NET をインストールします。

FileMaker Pro のアンインストール、変更、または修復

FileMaker Pro のアンインストール、欠損または破損ファイルの置き換え、またはインストールされる機能の変更などは、Windows のコントロールパネルを使用することができます。FileMaker Pro を修復する場合、ライセンスキーを入力するプロンプトが表示されることがあります。

第3章

OS X での FileMaker Pro のインストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了し、作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報およびリリースノートについては、<http://filemaker-jp.custhelp.com> を参照してください。

インストールの注意

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- お使いのコンピュータがシステム必要条件を満たしていることを確認します。[FileMaker Pro 技術仕様](#)を参照してください。
- FileMaker Pro をインストールするには OS X の管理者権限が必要で、管理者アカウントとパスワードを使用する必要があります。
- ご使用のコンピュータでウイルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。
- インストール中に、すべてのプログラムファイルをインストールする [標準インストール]、またはプログラムの一部をインストールする [カスタムインストール] を選択します。たとえばディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。
- 標準インストールではオペレーティングシステムと同じ言語の FileMaker Pro がインストールされます。カスタムインストールを選択するとサポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。
- Apple Remote Desktop を使用して、FileMaker Pro のリモートインストールを実行することもできます。『[FileMaker Pro ネットワークインストールセットアップガイド](#)』を参照してください。

デフォルトのインストール場所

デフォルトでは、FileMaker Pro および FileMaker Pro Advanced は次の場所にインストールされます。

[ドライブ]/Applications/<FileMaker 製品>

<FileMaker 製品> は FileMaker Pro 15 または

FileMaker Pro 15 Advanced です。インストール中に別のドライブまたはフォルダを選択することができます。

FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするにはインストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても FileMaker Pro はインストールできません。

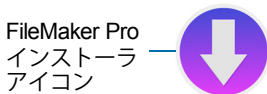
1. 次のいずれかを行います:

- ソフトウェアを電子的に入手した場合は、ファイルのダウンロード後にディスクイメージアイコン (.dmg ファイル) をダブルクリックします。



- DVD を使用して FileMaker Pro をインストールする場合は、DVD ドライブに DVD を挿入し、DVD ウィンドウを開きます。

2. **FileMaker Pro** のインストーラアイコンをダブルクリックします。



3. 画面の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。

17 ページの「インストールの注意」を参照してください。

4. インストールが完了すると、[ユーザ登録] ダイアログボックスが表示されます。

FileMaker Pro のアンインストール

1. FileMaker Pro 15 または FileMaker Pro 15 Advanced フォルダとすべての内容をアプリケーションフォルダからゴミ箱にドラッグします。
2. FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced の環境設定ファイルをゴミ箱にドラッグします。

FileMaker Pro の場合:

<ホーム>/ライブラリ/Preferences/com.filemaker.client.pro12.plist

FileMaker Pro Advanced の場合:

<ホーム>/ライブラリ

/Preferences/com.filemaker.client.advanced12.plist

第4章 新機能

次に示す機能の詳細については、[ヘルプ](#)を参照してください。

新しいフィールドコントロール

- マスク付き編集ボックス–フィールドのデータの代わりにドットが表示されるように設定して機密情報を隠します。

使いやすさの改善

- FileMaker Pro ヘルプ–よりアクセスしやすく、より使いやすくするため、ヘルプを再設計しました。ヘルプを利用するにはインターネットへの接続が必要ですが、ヘルプをダウンロードしてからオフラインで使用することができます。
- ソフトウェア更新の簡略化–ソフトウェア更新が入手可能になると通知が表示され、FileMaker Pro 内でダウンロードとインストールを実行できます。
- ホストの検索–起動センターのホストの一覧の上にある検索ボックスを使用して、ホストを検索できます。
- ODBC データソースの追加サポートが提供されました。
- OS X: FileMaker Pro ドキュメントウインドウのフルスクリーン表示と分割表示がサポートされています。
- OS X: スペースバーでポップアップメニューを開いたり閉じたりできるようになりました。

スクリプトワークスペースの改善

- スクリプトの問題をチェックできます。問題がスクリプト編集パネルで強調表示されます。スクリプトをインポートまたは貼り付け(ペースト)すると自動的に問題がチェックされます。
- 新しい環境設定で、新規作成したスクリプトを [スクリプト] メニューにデフォルトで表示できます。
- [スクリプトワークスペース] と [計算式の指定] ダイアログボックスで操作を元に戻すことができます。

セキュリティの向上

- FileMaker Server 上で共有されているファイルを開く操作、HTTP リクエストにより XML データをインポートする操作、暗号化された接続を使用して SMTP サーバー経由で電子メールを送信する操作を実行する前に、FileMaker Pro で SSL 証明書を検証することができます。
- ホストの SSL 証明書を検証できなかった場合は通知が示されます。無視して接続するか、そのホストを許可済みホストの一覧に追加するか、またはキャンセルするかを選択できます。
- 他のアプリケーションが AppleScript または ActiveX を使用して FileMaker スクリプトを実行することを禁止できます。
- データビューアの [監視] タブで式を表示するには、完全アクセス権を持つアカウントにログインする必要があります。
- FileMaker Go でキーチェーンにアクセスする前に、ユーザが Touch ID または iOS パスコードを使用することを要求するようにソリューションを設定できます。

スクリプトステップ

新しいスクリプトステップ

- テーブルデータを削除 – 現在の対象レコードに関係なく、指定したテーブルのすべてのレコードを削除します。大量のレコードを削除する場合、[テーブルデータを削除]の方が[全レコード削除...]よりも速くレコードを削除できます。

変更されたスクリプトステップ

- 以前 [ダイアログなしで実行] チェックボックスが表示されていたスクリプトステップに、[ダイアログあり] オプションがインラインで表示されるようになりました。
- ファイルを変換 – XML データの HTTP リクエストで指定されているサーバーの SSL 証明書を検証できるようになりました。
- レコードのインポート – XML データの HTTP リクエストで指定されているサーバーの SSL 証明書を検証できるようになりました。
- URL から挿入 – URL で指定されているサーバーの SSL 証明書を検証できるようになりました。
- メールを送信 – 暗号化された接続を使用している SMTP サーバーの SSL 証明書を検証できるようになりました。

関数

新しい関数

- RangeBeacons – iBeacon と iOS デバイスへの近接の一覧を返します。

変更された関数

- Get (最終 ODBC エラー) は Get (最終外部エラー詳細) に変更され、ODBC エラーに加えて SSL 証明書エラーの詳細を返すようになりました。

変更および取り除かれた機能

- OS X: FileMaker Pro は 64 ビットアプリケーションとしてのみ実行できます。FileMaker Pro で 32 ビット専用バージョンのプラグイン、ODBC クライアントドライバ、オーディオ/ビデオコーデックを使用する場合は、プロバイダに連絡してそのソフトウェアの 64 ビットバージョンを入手してください。
- ポップアップメニューで表示される値一覧 – 2 番目のフィールドの値を表示する値一覧を定義する場合、ポップアップメニューとして書式設定されたフィールドには最初のフィールドの値のみが表示され、ポップアップメニューを閉じるとそのフィールドのデータ書式が適用されるようになりました (これはドロップダウンリストの場合と同じ動作です)。値一覧の値を表示してデータ書式を無視するには、新しい [値一覧でデータ書式を上書き] インспекタオプションを選択します。
- レコードを PDF として保存するときの Acrobat 5 および Acrobat 6 との互換性のサポートが取り除かれました。
- FileMaker Pro ユーザーズガイドは取り除かれました。このガイドにあった情報は [ヘルプ](#) でご確認ください。

第5章

この後の作業を開始するにあたって

FileMaker Pro のインストール終了後、アプリケーションで直ちに作業を開始することができます。実際の作業に取りかかる前に以下を参考にしてください。

- FileMaker Pro の機能の動作を確認する場合は、[ファイル]メニュー> [始めましょう...] を選択して次を選択します：
 - [詳細]> [FileMaker Pro ツアーを体験する] を選択してツアーを開始します。
 - [Starter Solution を選択する] を選択し、画面をスクロールして、一般的なビジネスおよび個人作業の管理用にカスタマイズされたプロフェッショナルなデザインの FileMaker Pro ソリューションをご確認ください。Starter Solution からデスクトップに新規ファイルを作成するには、[この Starter Solution から作成] を選択します。
- 『FileMaker Training Series: 基礎編』のレッスンとアクティビティに従います (<http://www.filemaker.com/jp> から入手可能)。
- その他のガイドをダウンロード可能なプロダクトドキュメンテーションセンターを表示するには、[ヘルプ]メニュー> [製品マニュアル] を選択します。
- FileMaker Pro の使用に関する総合的な情報およびステップバイステップの手順については、[ヘルプ]メニュー> [FileMaker Pro ヘルプ] を選択します。

